

成果の説明書

(氏名)石井清輝	(学部)地域政策学部
1 重要事項 ①これまでの「在台日本人」、及び台湾人に関する生活史調査のデータを整理し、あわせて収集してきた関連資料の整理を進めた。なお、その成果の一部を、「植民地同窓会における日本統治時代をめぐる『モデル・ストーリー』—花蓮港中学校を事例として」と題し、研究会において報告した（2022年9月18日「台湾引揚研究会」）。 ②群馬県桐生市の重要伝統的建造物群保存地区及び桐生新町地区を中心に、桐生祇園祭、並びに歴史的建築物の保存、活用に関して調査活動を進めた。一部は石井ゼミ生との共同調査とし、同祭礼の広報活動の一環として、石井ゼミホームページにおいて公表した。	
2 その他の事項	
3 次年度以降の計画・抱負 ①取材活動が可能な社会状況になってきたため、「在台日本人」の生活史、1945年以後の日本統治時代に関する記憶のあり様をテーマとした取材活動を進め、学会報告、論文の執筆を進めていきたい。 ②群馬県桐生市を対象として、所属ゼミ学生との共同調査・地域活動を継続し、研究報告書の指導、及び自身の論文の執筆を進める予定である。また、ゼミHPを通しての調査結果の発信を始めたため、今後も継続し、調査結果の社会還元活動をより強化していきたい。	